

東京都港区 MCS地域包括会計事務所 第10回 協議会 高齢者住宅の現状と課題

師走の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。12月12日に港区の丸山定夫先生が第10回目となる地域包括会計事務所協議会を開催しました。

昨年の12月から協議会を開催し、今回で10回目の会合となりました。以前より参加者間の勉強会を開催し、特に高齢者の住まいという点に着目して、現状の高齢者の状況や今後の制度構想などを勉強してきました。

今回のテーマについても以前より引き続き「住居とケアの将来と制度構想」ということで開催をしました。その中でも地域居住支援制度についての参加者間の意識共有を行い、現在の高齢者や生活保護世代の状況や空き家住宅の現状把握、また、今後の政府の対応として予想される方針などを勉強しました。「地域善隣事業」や「居住支援給付制度」といったなかでの今後のMCS地域包括会計事務所の役割、そのための準備などについて協議が行われました。また、行政によっては既に始めている所など、試験的ではありますが、その取り組みなどについても今後の活動の参考とすべきものがあることが報告されました。また、今回は上記テーマに加え、積水ハウス(株)より高齢者の住宅支援のために新たに設立された新会社の紹介などが行われました。



終盤には参加者全員から今回のテーマに沿った意見等を伺い、現状の高齢者住宅への展開の難しさなど、今後の課題等などについても協議が行われました。

今後、MCS地域包括会計事務所ではこういった現状等を踏まえ、港区のなかでも特に麻布十番商店街を中心とした活動にシフトをしていき、セミナーの開催や相談会などを地元の企業などとのコラボレーションを目指して行きたいとのことです。

